

2024 年度

アニュアルレポート

(事業活動報告)

一般社団法人 保険者機能を推進する会

I. 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

1. 設立年月日

2001年5月10日(法人登記 2010年12月22日)

2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・ 良質な医療を確保する
- ・ 保険料を効率的に活用する
- ・ 保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにより、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ①保険者機能に関する各種調査・研究等
- ②組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラール向上のための研修等
- ③公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④保険者機能を効果的、効率的に發揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤その他、定款に定める目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

	種類	区分	2024年度末	2023年度末	増減
会員数	正会員	単一健保	114組合	109組合	5組合増
		総合健保	1組合	0組合	1組合増
	準会員	115組合	109組合	6組合増	
		1団体	1団体	増減なし	
		116団体	110団体	6団体増	

5. 事務所の状況

主たる事務所: 東京都千代田区神田北乗物町11番地 乗物町第一ビル4階

電話番号 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413

E-mail hokensha@kino-suishin.org

ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

II. 会員一覧

2025年3月31日現在の会員数は116団体(正会員:115 健保 準会員:1団体)

◆正会員:115 健保(50音順)

会員健康保険組合名		
IHI グループ	シナネン	パイオニア
アクサ生命	ジャックス	博報堂
アクセンチュア	住友不動産販売	パナソニック
味の素	全日本空輸	阪急阪神
azbil グループ	ソニー	BIJ
アフラック	第一三共グループ	PHC
イオン	大正製薬	PwC
石塚硝子	太陽生命	日立
エーザイ	大陽日酸	日立建機
SMBC 日興証券グループ	大和証券グループ	ファイザー
SG ホールディングスグループ	武田薬品	フジクラ
FR	DIC	富士通
FWD 生命保険	TDK	富士フィルムグループ
MSD	ディスコ	ブリヂストン
大塚製薬	デンソー	プレス工業
オートバックス	東京海上日動	ポーラ・オルビスグループ
小田急グループ	東京ガス	ボッシュ
オリンパス	東芝	丸井
花王	TOTO	三越伊勢丹
カシオ	TOPPAN グループ	三菱
協和キリン	トピー	三菱ケミカル
キリンビール	豊田通商	三菱重工
近畿日本ツーリスト	トラスコ中山	三菱商事
グラクソ・スミスクライン	トランス・コスモス	三菱電機
栗田	ニコン	三菱UFJ 証券グループ
計機	ニチレイ	三菱UFJ ニコス
KDDI	日産自動車	明治安田生命
国際興業	日本製鉄	明電舎
コスモスイニシアグループ	日本アイ・ビー・エム	安田日本興亜
コニカミノルタ	日本航空	山崎製パン
小松製作所	日本コロムビア	ヤマトグループ
鷺宮	日本事務器	ヤマハ
サッポロビール	日本ゼオン	雪印メグミルク
C&R グループ	日本発条	リクルート
シーイーシー	日本ヒューレット・パッカード	レンゴー
CNC グループ	日本マクドナルド	ロイヤル
ジェイアールグループ	日本旅行	ローソン
JNC	ノバルティス	
資生堂	野村證券	

◆準会員:1団体

健康保険組合連合会 京都連合会

III. 役員一覧

(2025年3月31日現在)

役職		氏名	常勤・非常勤	所属
会長	代表理事	藤代 勉	非常勤	三菱健康保険組合 理事長
副会長	代表理事	小川 佳政	非常勤	ファイザー健康保険組合 常務理事
副会長	理事	北川 豊	非常勤	パナソニック健康保険組合 常務理事
副会長	理事	木村（沼越）園子	非常勤	日本ヒューレット・パッカード健康保険組合 常務理事
副会長	理事	小宗 邦彦	非常勤	MSD健康保険組合 常務理事
副会長	理事	若林 国弘	非常勤	三菱電機健康保険組合 常務理事
	理事	飯島 一彦	非常勤	鷺宮健康保険組合 常務理事
	理事	井坂 徳雄	非常勤	C&Rグループ健康保険組合 常務理事
	理事	岡 敏樹	非常勤	日本航空健康保険組合 理事長
	理事	小川 英樹	非常勤	東京海上日動健康保険組合 常務理事
	理事	海宝 和養	非常勤	アクセンチュア健康保険組合 常務理事
	理事	竹本 覚	非常勤	武田薬品健康保険組合 常務理事
	理事	戸津 玲	非常勤	グラクソ・スミスクライン健康保険組合 常務理事
	理事	永井 立美	非常勤	デンソー健康保険組合 常務理事
	理事	日原 順二	非常勤	計機健康保険組合 常務理事
	理事	福井 浩明	非常勤	日立健康保険組合 常務理事
	理事	安井 英二	非常勤	阪急阪神健康保険組合 専務理事
	理事	六田 忠志	非常勤	富士フィルムグループ健康保険組合 常務理事
	監事	宇都宮 猛	非常勤	大和証券グループ健康保険組合 常務理事
	監事	栗坂 穎一	非常勤	日本製鉄健康保険組合 常務理事

IV. 事業の概況

1. 事業の実施状況

(1) 事業の概況

研究会をはじめとする各種事業は、対面とオンラインを併用しながら、積極的な活動を行ってまいりました。4月には6年ぶりとなる関西講演会を厚生労働省や健康保険組合連合会本部のご協力のもと実施致しました。11月の保険者機能推進全国大会においても昨年に引き続き、会場とオンラインのハイブリッド形式による開催を行い成功裏に終了することができました。また、厚生労働省、健保連とも連携を取りながら、会員健保組合のみなさまへの積極的な情報提供を行い、また健保組合の現状を伝える活動も積極的に行いました。

(2) 事業の活動状況

◆研究会活動

2024年度は、前年度までの8研究会に加え、新たにマイナンバー研究会、健康経営における指標のあり方研究会を立ち上げ、合計10研究会が活動いたしました。対面での活動が活発化すると同時に、オンラインの利点も活かしたハイブリッドでの活動も継続しています。研究会の特性や取り扱うテーマによって開催方法や活動手段の選択肢が増え、参加者にとっての利便性向上につながりました。また、学会での発表を行う研究会も増加し、関係機関との意見交換の機会も増えるなど、対外的な発信という面で、活動内容が発展的に展開した一年でもありました。

＜各研究会の活動状況＞

研究会名	リーダー(所属健保) ※敬称略	参加者数	開催回数
レセプト・健診データ分析研究会	木下 健次郎 (パナソニック健保)	45名	9回
健診事業のあり方研究会	戸津 玲 (グラクソ・スミスクライン健保)	36名	10回
特定保健指導応用研究会	佐久間 淳 (BIJ 健保)	41名	6回
女性の健康研究会	井坂 徳雄 (C&R グループ健保)	37名	9回
シニアの健康研究会	安森 政久 (日本マクドナルド健保)	40名	9回
たばこ対策研究会	渕上 武彦 (コニカミノルタ健保)	54名	10回
療養費適正化研究会	原 直人 (トピー健保)	47名	10回
扶養認定基準研究会	赤羽 修 (プレス工業健保)	77名	12回
マイナンバー研究会	水村 朱希 (日本ヒューレット・パッカード健保)	12名	7回
健康経営における評価のあり方研究会	小宗 邦彦 (MSD 健保)	10名	5回

※参加者数は2025年1月1日現在のものです。

◆保険者機能推進全国大会

「保険者機能の原点を追求します！」をテーマに、2024年11月20日に12回目となる保険者機能推進全国大会を対面、オンラインのハイブリッド形式にて開催しました。特別講演として、ロコモ チャレンジ！推進協議会委員長 大江 隆史氏より「高めようロコモリテラシー～現役世代から始めるロコモ予防～」という演題にてご講演をいただき、シニアの健康研究会よりロコモ対策に関する事例発表を行いました。後半では、当会の活動内容のご紹介、「健診事業のあり方研究会」「レセプト・健診データ分析研究会」からの研究成果発表を行いました。

参加者数は、会場：180名 WEB：181名 の計361名でした。

◆医療保険制度ゼミナール

2024年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催内容	会場	参加者数
第34回 4月12日	『データから見る健康経営の実態と成果』 順天堂大学教授 矢野裕一朗氏 ★関西講演会の中で開催	ハイブリッド (パナソニック リゾート大阪)	163名 (非会員含む)
第35回 1月22日	『医療制度改革の到達点と課題』 医療法人社団聰伸会 今村医院 今村聰氏 (元日本医師会 副会長)	ハイブリッド (東京連合会)	52名

◆基礎知識研修会

2024年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催内容	会場	参加者数
第1回 8月28日	『女性特有の健康課題 ～女性医療の第一人者から見た保険者に期待すること』 医療法人社団ウィミンズ・ウェルネス 理事長 対馬 ルリ子氏 ◎女性特有の健康課題への取り組み事例のご紹介 野村証券健康保険組合 日本マクドナルド健康保険組合	オンライン	91名

◆常務理事ネットワークの会

2024年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催テーマ	会場	参加者数
第1回 5月27日	★新任常務理事対象 『健保組合・健保連の重点要望等』 健康保険組合連合会 理事 秋山 実氏 『健康保険組合連合会からのご説明』 健康保険組合連合会 組合サポートG 小松 正宗氏 ◎グループディスカッション、各グループからの発表	ハイブリッド (丸井健保)	36名

開催日	開催テーマ	会場	参加者数
第2回 10月7日	<p>＜テーマ＞ 『健康保険組合の財政中期計画立案について』 ＜事例発表＞ 　　アクセンチュア健康保険組合 　　MSD 健康保険組合 ◎グループディスカッション</p>	ハイブリッド (丸井健保)	48名
第3回 3月31日	<p>＜テーマ＞ ① 健保の業務効率化について ※DX 含む (庶務、経理、給付、適用などの業務について) ② 健保の保健事業の評価 (評価基準、評価方法、具体的な事例) ◎グループディスカッション、各グループからの発表</p>	ハイブリッド (東京連合会)	54名

◆事務長ネットワークの会

2024年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催テーマ	会場	参加者数
第1回 10月31日	<p>『マイナンバーに関する情報のアップデート』 　　健康保険組合連合会 政策部 担当部長 鈴木 俊明氏 『マイナ保険証の利用促進の取組』 　　安田日本興亜健康保険組合 藤澤 陽一氏 ◎グループディスカッション・質疑応答</p>	ハイブリッド (東京連合会)	60名
第2回 3月17日	<p>『健保組合を取り巻くサイバーリスクの実態』 　　PwC Japan ディレクター 江原 悠介氏 『事例紹介』 　　外部委託先に対するセキュリティ評価の取組みのご紹介』 　　PwC 健康保険組合 常務理事 上原 京子氏 　　PwC Japan 太田 皓己氏、浅尾 圭人氏、山谷 理絵氏</p>	オンライン	82名

◎その他の勉強会、情報交換会など

開催日	行 事 名	会場	参加者数
4月12日	<p>関西講演会 『保険者機能強化に向けた取り組み』 　　健康保険組合連合会 理事 秋山 実氏 (医療保険制度ゼミナールとして) 『データから見る健康経営の実態と成果』 　　順天堂大学教授 矢野裕一朗 氏 厚生労働省 保険局 保険会 意見交換会 　　厚生労働省 保険局 菊地 博史氏</p>	ハイブリッド (パナソニックリゾート大阪)	163名 (非会員含む)
5月 20日	<p>出産・子育ての環境整備等の取組に対する 　　財政支援について説明会 健康保険組合連合会 理事 秋山 実氏 健康保険組合連合会 保健事業グループ 平澤 勇樹氏</p>	オンライン	95名
6月 17日	<p>乳がんエコーAI 診断技術説明会 『女性特有の健康課題による経済損失試算と 　　健康経営の必要性について』 　　経済産業省 ヘルスケア産業課 課長 橋本 泰輔氏 『早期発見 100%で乳癌を克服する社会に向けて』 　　株式会社 Smart Opinion 代表取締役社長 山並 憲司氏</p>	オンライン	136名

開催日	行事名	会場	参加者数
7月29日	<p>マイナンバー研究会主催 意見交換会 『保険証廃止をめぐる最近の情勢、 及び健康保険組合としての対応について』 健康保険組合連合会 政策部 担当部長 鈴木 俊明氏 ◎意見交換会 厚生労働省保険局 菊地 博史氏 健康保険組合連合会 政策部 担当部長 鈴木 俊明様</p>	オンライン	213名
11月8日	<p>プレコンセプションケアセミナー (東京産婦人科医会、女性の健康研究会 共催) ◎第一部 女性が自分らしく生きるために 医療法人社団 ウイミンズウェルネス 対馬 ルリ子氏 ◎第二部 プレコンセプションケアとは 杏林大学医学部付属病院 谷垣 伸治氏</p>	ハイブリッド (C&R グループ本社)	150名

レセプト・健診データ分析研究会

＜テーマ＞

全体テーマ：全参加提出の健保特定健診 & 特定保健指導データ分析

グループワーク：健診 & レセプトデータ深掘り分析を通じて自健保実態を把握するとともに保健事業改善方法を検討

＜参加条件＞

◎スキル、経験は不問

(※但し、保健事業の経験者の方がより理解はしていただき易い)

◎ハイブリッド開催となりリモート参加者はMicrosoft Teams利用が可能な方

◎研究会の『全体テーマ』に必要な下記2つのデータを作成いただける保険者

- ・特定健診の直近 ⇄ 5年前比較用データ
- ・特定保健指導翌年変化分析ツール用データ

※いずれも個人情報は含みません

◆研究会メンバー

リーダー : 木下 健次郎 (パナソニック)

担当理事 : 藤代 勉 (三菱)、北川 豊 (パナソニック)、福井 浩明 (日立)

顧問 : 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 古井 祐司先生

アドバイザー : 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任准教授 井出 博生先生
東京大学 大学院医学系研究科 特任助教 後藤 英子先生

参加者数：31健保 41名 (2025年3月)

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	アクサ生命	12	大和証券グループ	23	日立
2	SGホールディングスグループ	13	デンソー	24	プレス工業
3	大塚製薬	14	東芝	25	丸井
4	カシオ	15	TOTO	26	三菱
5	計機	16	ニチレイ	27	三菱重工
6	コニカミノルタ	17	日産自動車	28	三菱商事
7	鷺宮	18	日本航空	29	三菱電機
8	サッポロビール	19	日本マクドナルド	30	安田日本興亜
9	ジェイアールグループ	20	パナソニック	31	ローソン
10	ジャックス	21	阪急阪神		
11	大陽日酸	22	PwC		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月31日	①体制・組織・進め方の提案・決定 ②職種・職制別チームメンバー決定 ③新年度メンバー自己紹介 など	東京大学伊藤国際学術センター
第2回	6月26日	①全体テーマ&前年資料研究 ②全体テーマ 今年度データ抽出説明	丸井健保会議室
第3回	7月26日	①全体テーマ 過去資料研究 ②グループワークメンバー決定→グループワーク活動開始	丸井健保会議室
第4回	9月18日	グループワーク活動 (全体テーマ: 抽出した自健保の特徴報告と課題などの議論、グループ毎テーマ検討)	丸井健保会議室
第5回	10月10日 ～11日	◆合宿 ①全体テーマ保険者比較など ②グループワーク活動 (グループ毎テーマ検討)	パナソニックリゾート大阪
第6回	11月27日	①グループワーク活動 (グループ毎テーマ検討)	丸井健保会議室
第7回	12月26日	①グループワーク活動 (グループ毎テーマ検討)	丸井健保会議室
第8回	1月24日	①グループワークまとめ、方針討議	丸井健保会議室
第9回	3月19日	①グループワーク報告会 ②来年度の活動計画	東京大学伊藤国際学術センター

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎外部発表

- ・日本総合健診医学会第52回大会 (1/31～2/1) にて、
レセプト・健診データ分析研究会で実施した分析内容について発表した。
(医療関係者からは、特に分析サンプル数について驚愕された)

◎研究会活動

〈前半〉

- ・特定健診データを元に作成する「健康分布図」や「特保効果分析ツール」についての理解を深め、ツール等の課題や改善点、活用方法についての検討
- ・各健保ごとに「健康分布図」&「特保効果分析」を行い、自健保の実態を確認

〈後半〉

下記4つのグループに分かれ、議論・検討を行った。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ①特定保健指導効果分析グループ | ②問診分析グループ |
| ③伝え方検討グループ | ④基礎知識を学ぼうグループ |

◎その他

- ・データ分析の初心者向けにアドバイザー後藤 英子先生による講義 (3回) を研究会活動を変更して開催した
→2025年度は推進する会全体に向けて開催予定

健診事業のあり方研究会

＜テーマ＞

がん検診と特定健診をテーマとして活動します。

◎がん検診

「職域におけるがん検診マニュアル」「第4期がん対策推進基本計画」に準じ
以下3項目に取り組む。

- ・受診率向上対策
- ・がん検診の精度管理等
- ・科学的根拠に基づくがん検診の実施

◎特定健診

データヘルス計画で多くの健保が課題と取り上げている
被扶養者の受診率向上について取り組む。

＜参加条件＞

- ・目的意識を持って参加いただける方（運営委員を引き受けるくらいの意欲）
- ・事例発表や情報共有など自健保の活動について発信いただける方
- ・Microsoft Teamsを使用してオンライン参加可能な方
(ハイブリッドが基本なるのでリアル参加大歓迎)

◆研究会メンバー

リーダー : 戸津 玲 (グラクソ・スミスクライン)

担当理事 : 戸津 玲 (グラクソ・スミスクライン)、飯島 一彦 (鷺宮)

アドバイザー : 国立がん研究センター がん対策研究所 高橋 宏和先生

摂南大学 教授 小川 俊夫先生

国立がん研究センター がん対策研究所 田中 旬子先生

参加者数 : 31健保 35名 (2025年3月)

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	大塚製薬	12	DIC	23	ファイザー
2	カシオ	13	TDK	24	ボッシュ
3	キリンビール	14	東芝	25	丸井
4	グラクソ・スミスクライン	15	日産自動車	26	三菱電機
5	栗田	16	日本航空	27	安田日本興亜
6	計機	17	日本発条	28	山崎製パン
7	鷺宮	18	日本旅行	29	ヤマトグループ
8	C&Rグループ	19	ノバルティス	30	ヤマハ
9	資生堂	20	博報堂	31	ローソン
10	大和証券グループ	21	パナソニック		
11	武田薬品	22	PwC		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月17日	①2024年度活動計画の発表・議論 ②参加者自己紹介	WEBのみ
第2回	6月14日	①高橋 宏和先生勉強会「がん検診精度管理について」 ②がん検診精度管理アンケート説明	GSK会議室
第3回	7月19日	①事例発表：ボッシュ健保 ②特定健診状況一覧入力説明 ③Welby社サービス説明	GSK会議室
第4回	8月23日	①小川 俊夫先生アンケートについてディスカッション（その1） ②がん検診精度管理アンケート中間まとめ	武田薬品会議室 (大阪)
第5回	9月13日	①産業衛生学会発表の予行演習 ②東京大学 南谷優成先生講演 ③がん検診アンケート	GSK会議室
第6回	10月18日	ワークショップ「精度管理をすすめるための課題整理と解決策を考える」（その1）	丸井健保会議室
第7回	11月15日	高橋 宏和先生勉強会「子宮頸がん検診update」	TDK（日本橋） 会議室
第8回	12月13日	ワークショップ「精度管理をすすめるための課題整理と解決策を考える」（その2）	丸井健保会議室
第9回	1月17日	①小川 俊夫先生アンケートについてディスカッション（その2） ②各健保の受診勧奨ツールを情報共有	GSK会議室
第10回	3月14日	2024年度まとめ	TDK会議室

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎外部発表

第34回 日本産業衛生学会全国協議会（10/3～5）にて、がん検診の精度管理の実態、自組合の状況が一目でわかるチャートについて発表した。

◎研究会活動

◇がん検診：精度管理の充実に向けて

・講義の聴講

「がん検診の精度管理について」

「科学的根拠に基づくがん検診実施 特にHPV検査について」

国立がん研究センター 高橋 宏和先生

「がん検診－その受診率向上に向けた取り組み－、社会におけるがん教育」

東京大学 南谷優成先生

・参加健保の現状確認のためのアンケート ↗ 産業衛生学会で発表

・現状を一步前進させるためのワークショップや事例発表

◇特定健診：被扶養者の受診率向上に向けて

・参加健保の現状確認のためのアンケート（摂南大学 小川 俊夫先生監修）

・受診勧奨ツールお披露目会（各健保の受診勧奨ツールの情報共有）

特定保健指導応用研究会

＜テーマ＞

2024年度は、第4期 特定健康診査・保健指導の制度が、アウトプットからアウトカムを重視する大きな変化の初年度となる。

当研究会ではコロナ禍でも継続していた情報収集（勉強会）により、特定保健指導プログラムのよりよい運用事例を収集・共有していく。

また、研究会の本分である研究活動は、勉強会をつうじて得られた参加メンバーが真に課題と考えている事項に取り組む。

＜参加条件＞

- ・参加者一人一人に研究会運営の役割を分担いただくことになるので、その役割を主体的に推進できる方
- ・楽しみながら特定保健指導をよりよくしていくために積極的に参加・活動できる方

◆研究会メンバー

リーダー：佐久間 淳（BIJ）

担当理事：海宝 和養（アクセンチュア）、六田 忠志（富士フィルムグループ）
アドバイザー：女子栄養大学特任教授 津下 一代先生

参加者数：34健保 42名（2025年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	アクセンチュア	13	資生堂	25	富士フィルムグループ
2	SGホールディングスグループ	14	大和証券グループ	26	ポーラ・オルビスグループ
3	大塚製薬	15	DIC	27	ボッシュ
4	小田急グループ	16	TDK	28	丸井
5	オムロン	17	日産自動車	29	三菱重工
6	花王	18	日本航空	30	明治安田生命
7	カシオ	19	日本ゼオン	31	山崎製パン
8	協和キリン	20	日本旅行	32	ヤマトグループ
9	キリンビール	21	野村證券	33	ヤマハ
10	栗田	22	パナソニック	34	ロイヤル
11	小松製作所	23	BIJ		
12	シーアイシー	24	ファイザー		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月30日	①メンバーの自己紹介 ②2024年度の活動について	BIJ大崎オフィス
第2回	8月1日	①事例紹介（三菱重工健保） ②分科会活動（グループディスカッション）	BIJ大崎オフィス
第3回	9月17日	①事例紹介（キリンビール健保、カシオ健保） ②分科会の進捗状況の共有	BIJ大崎オフィス
第4回	11月27日	①事例紹介（協和キリン健保、オムロン健保） ②分科会の進捗状況の共有	日本航空 羽田空港オフィス
第5回	1月17日	①事例紹介（小田急グループ健保） ②分科会の進捗状況の共有 ③アドバイザー津下先生との意見交換会	BIJ大崎オフィス
第6回	3月14日	①詳細アンケート報告 ②分科会活動（グループディスカッション） ③分科会の成果報告	BIJ大崎オフィス

◎並行して、3つの分科会が活動しました。（各分科会とも6～8回程度開催）

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎研究会活動

- ・研究会と分科会（3つ）の2本立てで活動した。

<研究会>

①アドバイザー 津下先生とトークセッションを行った。

- ・特定健診・特定保健指導の方向性について（第4期、アウトカム重視など）

- ・3つの分科会のテーマに沿ったトークセッション

- ・特定保健指導および保健事業に関して保険者に期待すること

②6健保より、特定保健指導に関する事例紹介を行った。

（三菱重工健保、キリンビール健保、カシオ健保、協和キリン健保、オムロン健保
小田急グループ健保）

- ・特定保健指導に関する具体的な情報提供、情報交換

⇒自健保の特定保健指導の課題解決のための情報収集

<分科会>

①特定保健指導実施率の向上に対するアプローチ

②リピーター対策

③重症化予防の保健事業

※各分科会とも6～8回程度開催し、議論・検討を行った。

※分科会の研究成果は、3月の研究会で全体に共有された。

女性の健康研究会

＜テーマ＞

女性の健康に関し、専門家・研究者やFemtechの事業会社からの情報の取得や協働による研究、また他健保の成功事例等の共有などにより、研究会参加健保の課題の解決につなげていきたい。

更には、その成果を推進する会参加健保にも共有することにより、推進する会全体へつなげていきたい。

＜参加条件＞

- ・研究会への参画を通じて、実現したい目的・目標がある方
- ・自身が研究会の運営を担う意気込みのある方

◆研究会メンバー

リーダー : 井坂 徳雄 (C&Rグループ)
担当理事 : 井坂 徳雄 (C&Rグループ) 、小川 英樹 (東京海上日動)
顧問 : 女性ライフクリニック銀座・新宿理事長 対馬 ルリ子先生
オブザーバ : 法研 編集部 へるすあっぷ21 星野 篤子氏

参加者数 : 29健保 39名 (2025年3月)

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	SMBC日興証券グループ	11	大和証券グループ	21	野村證券
2	SGホールディングスグループ	12	東京海上日動	22	パイオニア
3	カシオ	13	東京瓦斯	23	パナソニック
4	計機	14	TOTO	24	ファイザー
5	国際興業	15	TOPPANグループ	25	ボッシュ
6	小松製作所	16	トピー	26	丸井
7	C&Rグループ	17	トランス・コスモス	27	明電舎
8	シーアイシー	18	日産自動車	28	山崎製パン
9	ジャックス	19	日本航空	29	ヤマトグループ
10	第一三共グループ	20	日本マクドナルド		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月17日	①参加メンバーの自己紹介 ②2024年度活動方針のディスカッション	
第2回	6月21日	①Femtech事業者の紹介「Mamawell」 ②調査票の共有	
第3回	7月19日	講演『HPVワクチンキャッチャップ接種』 PHコンサルティング合同会社 諸岡 健雄先生	
第4回	9月20日	健康経営事例共有	
第5回	10月18日	①Femtech事業者の紹介「セルソース」 ②卵子凍結施設見学（川崎）	
第6回	11月8日	東京産婦人科医会との共催 『プレコンセプションケアセミナー』 女性ライフクリニック銀座・新宿理事長 対馬ルリ子先生 杏林大学 総合周産期母子医療センター長 谷垣 伸治先生	ハイブリッド C&R本社/ZOOM
第7回	12月20日	国立成育医療研究センター 荒田 尚子先生	
第8回	1月17日	『更年期症状について』 大塚製薬株式会社 ニュートラシティカルズ事業部	
第9回	3月21日	年間活動の振り返りアンケートの共有	

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎外部イベント

- ・東京産婦人科医会との共催で11/8に「プレコンセプションケアセミナー」を開催した。

◎推進する会内への情報展開

- ・健保連『出産・子育ての安心につながる環境整備などの…財政支援9.9億円』に関する説明会を5/20に開催した。
- ・経産省ヘルスケア産業課による講演、Smart Opinion社「乳がん超音波AI診断」に関する説明会を6/17に開催した。
- ・基礎知識研修会とのコラボ企画を、8/28に実施した。
『女性特有の健康課題～女性医療の第1人者から見た保険者に期待すること』
講師：女性ライフクリニック銀座・新宿理事長 対馬ルリ子先生
女性特有の健康課題への取組み事例共有（野村證券健保、日本マクドナルド健保）

◎研究会活動

- ・Femtech事業者（Mamawell社、セルソース社※工場見学）の理解を深めた。
- ・HPVワクチンキャッチャップ接種、更年期症状に関する講演を視聴した。

シニアの健康研究会

＜テーマ＞

シニア層のQOL向上に着目した健診項目の追加」に向けた政策研究をテーマに取り組みます

①シニア層向けの保健指導事例の共有と共同した取り組み
(健康かわら版等を含む既存テーマ)

②シニア層のQOL（生活の質）向上に着目した「健診項目の追加」にむけた政策研究（新）

＜参加条件＞

- ・共に研究会を盛り上げていただける方なら特段のスキルや経験は問いません

◆研究会メンバー

リーダー : 安森 政久 (日本マクドナルド)

担当理事 : 若林 国弘 (三菱電機)

沼越 園子 (日本ヒューレット・パッカード)

参加者数 : 32健保 40名 (2025年3月)

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	FWD生命保険	12	住友不動産ステップ	23	博報堂
2	花王	13	全日本空輸	24	パナソニック
3	カシオ	14	ソニー	25	ファイザー
4	グラクソ・スミスクライン	15	ディスコ	26	丸井
5	計機	16	トピー	27	三菱電機
6	コスモスイニシアグループ	17	トランス・コスモス	28	山崎製パン
7	コニカミノルタ	18	日産自動車	29	ヤマトグループ
8	C&Rグループ	19	日本航空	30	ヤマハ
9	資生堂	20	日本ヒューレット・パッカード	31	リクルート
10	シナネン	21	日本マクドナルド	32	ローソン
11	ジャックス	22	野村證券		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月23日	①メンバー自己紹介 ②研究会の内容説明 ③年間スケジュールの議論・共有	丸井健保会議室
第2回	6月13日	みなし健診事業（日本航空健保↔Welby社）の共有 ※みなし健診事業＝健診未受診者にかかりつけ医で健診を受けてもらう事業	丸井健保会議室
第3回	7月13日	『60歳からの健康経営事業の共有』 医療法人社団聰伸会 今村医院院長 今村 聰先生	丸井健保会議室
第4回	9月12日	①全国大会 口コモ取組み健保の発表（日産自動車健保） ②口コモ度テストの実施（2ステップテスト、立ち上がりテスト）	丸井健保会議室
第5回	10月10日 ～11日	◆合宿 ①高齢者拠出金の仕組み ②口コモ取組み健保の発表（パナソニック健保） ③全国大会での発表に向けての準備	パナソニック リゾート大阪
第6回	11月12日	①被扶養者受診率向上の取組み事例共有（カシオ健保、ヤマハ健保、ファイザー健保） ②全国大会での発表に向けての準備	丸井健保会議室
第7回	12月10日	『アイフレイルについて』 日本眼科学会 加藤圭一先生	丸井健保会議室
第8回	1月23日	グループ討議「口コモ予防、アイフレイルを中心に今後健保で展開できること」	丸井健保会議室
第9回	3月13日	①2024年度活動の振り返り ②2025年度活動について	丸井健保会議室

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎2024年度保険者機能推進全国大会で発表しました

口コモ チャレンジ！推進協議会 委員長 大江隆史先生の特別講演
「高めよう口コモリテラシー、現役世代から始める口コモ予防」を受けて
シニアの健康研究会での、口コモ予防の事例を発表した。

◎口コモサミットへ参加しました

2025年3月2日に開催された日本整形外科学会、口コモ チャレンジ！推進協議会
主催の「口コモサミット」に参加で、推進する会やシニアの健康研究会の取組み
について発表した。

◎昨年度に引き続き、参加健保の共同事業として「健康かわら版」を発行した

＜参加健保＞

アクセンチュア、トピー、ファイザー、花王、ニチレイ、ヤマトグループ、ソニー、野村證券、ヤマハ

号数	発行月	メインテーマ	シニア研 オリジナルコラム	ページ数
第44号	2024年10月末	「睡眠休養感」がカギ！ より良い睡眠で健康づくり	栄養バランスに注意して元気に動ける体を作ろう	4
第45号	2025年3月末	季節の変わり目の体調不良 「春バテ」を乗り切ろう！	年齢とともに性格は変わる？	4

たばこ対策研究会

＜テーマ＞

6つのプランをご用意しました。ご希望に合わせて気楽にご参加ください。

- ①「基礎知識」習得プラン（6月・7月開催）
- ②「教育・啓発」「禁煙支援」ステップアッププラン（8月・9月・10月）
- ③「環境整備」ステップアッププラン（11月・12月・1月）
- ④「研究・分析」チーム活動プラン（6ヶ月間：7～12月）
★研究テーマはタバコとレセプトの関係性分析を予定
- ⑤「外部交流活動」チーム活動プラン（不定期：6～1月）
- ⑥「職場のたばこ対策冊子」チーム活動プラン（不定期：6～1月）

＜参加条件＞

- ・Microsoft teams活用可能な方
- ・楽しみながら活動できる方

◆研究会メンバー

リーダー : 渕上 武彦（コニカミノルタ）

担当理事 : 小川 佳政（ファイザー）、安井 英二（阪急阪神）

顧問 : 日本禁煙科学会 理事長 京都大学医学部 特任教授 高橋 裕子先生

アドバイザー : フリー（元NHKためしてガッテンプロデューサー） 北折 一氏

オブザーバー : サンライフ企画 営業部 岡崎昭正氏

サンライフ企画 編集部 松本りえ氏

参加者数：31健保 53名（2025年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	石塚硝子	12	資生堂	23	ファイザー
2	SGホールディングスグループ	13	ソニー	24	富士フィルムグループ
3	FWD生命保険	14	TDK	25	ポーラ・オルビスグループ
4	オートバックス	15	TOTO	26	丸井
5	小田急グループ	16	トピー	27	三越伊勢丹
6	カシオ	17	トランス・コスモス	28	三菱商事
7	キリンビール	18	ニチレイ	29	山崎製パン
8	栗田	19	日本航空	30	ヤマトグループ
9	コニカミノルタ	20	日本事務器	31	雪印メグミルク
10	小松製作所	21	野村證券	32	ローソン
11	シーイーシー	22	阪急阪神		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月10日	①研究会活動方針・スケジュール ②世界禁煙デーについて ③事務連絡	Teams開催
第2回	6月7日	①基礎知識レクチャー その1 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	コマツ会議室 (ハイブリッド)
第3回	7月5日	①基礎知識レクチャー その2 ②たばこ対策情報集事例紹介 ③グループワーク情報交換 ④チーム活動	Teams開催
第4回	8月2日	①禁煙支援士（初級）試験 ②北折一先生レクチャー ③「教育・啓発」事例紹介 ④グループワーク情報交換	コマツ会議室 (ハイブリッド)
第5回	9月6日	①高橋裕子先生レクチャー その1 ②「教育・啓発」「禁煙支援」事例紹介 ③グループワーク情報交換	Teams開催
第6回	10月4日	①「禁煙支援」事例紹介 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動 ④情報交換会	コマツ会議室 (ハイブリッド)
第7回	11月1日	①「環境整備」事例紹介 ②グループワーク情報交換	コマツ会議室 (ハイブリッド)
第8回	12月6日	①分析結果報告会 ②「環境整備」事例紹介 ③禁煙支援士（中級・上級）募集 ④グループワーク情報交換 ⑤来期研究テーマ	コマツ会議室 (ハイブリッド)
第9回	1月10日	①高橋裕子先生レクチャー その2 ②「環境整備」事例紹介 ③来期研究テーマ ④グループワーク情報交換	コマツ会議室 (ハイブリッド)
第10回	3月7日	①2024年度研究会活動の振り返り ②来期活動について ③情報交換会	Teams開催

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎外部イベント・取組み

- ・11/23～24で開催された、第19回日本禁煙科学会 学術総会にて発表した。
 - 推進する会、たばこ対策研究会の活動内容紹介
 - 喫煙とレセプト及び健診結果・問診に関する分析報告
- ・療養費適正化研究会とのコラボで、日本柔道整復師会を通じて
全国の接骨院に禁煙ポスターを展開する働きかけを行った。

◎研究会活動

- ・新たな取り組みとして、参加メンバーの多様なニーズに対応できるよう
下記6プランで研究会活動を行った。
 - ①「基礎知識」習得
 - ②「教育・啓発」「禁煙支援」ステップアップ
 - ③「環境整備」ステップアップ
 - ④「研究・分析」チーム活動
 - ⑤「外部交流活動」チーム活動
 - ⑥「職場のたばこ対策冊子」チーム活動
- ・顧問の高橋裕子先生の講義（2回）でたばこに対する知識を深めた
- ・アドバイザー北折一氏の講義で、教育・啓発に対する知識を深めた。
- ・参加メンバーの禁煙支援士（初級・中級・上級）の資格取得を進めた。

療養費適正化研究会

＜テーマ＞

- 療養費を取り巻く環境・実態の理解、把握
- 自健保における柔整療養費の正しい利用への啓発と分析
- 他健保との比較から理解する自健保での課題・問題点の抽出
- ★柔整療養費の業務の流れの整理を行い、「業務フロー」の整理と適正化活動のポイントを纏めます

＜参加条件＞

- ・ハイブリッド型で研究会を開催しますが、
参加出来る方は出来るだけ対面参加をしていただきたい
 - ・研究会は皆さん自身で作るものなので、積極的に参加・活動出来る方を求めます
 - ・「情報共有」を中心とした回では、参加メンバー皆さんに持ち回りで
進行も発表も行っていただきます。
他人の発表を聞くだけ・・・という方は参加をご遠慮ください。
- ★2024年度は試行的にいくつかの参加スタイルを設定します。
ご本人の希望によって申し込みを受けますが、
どのコースを選択するにも、まずは当研究会に参加登録をお願いいたします。

◆研究会メンバー

リーダー：原 直人（トピー）

担当理事：小川 佳政（ファイザー）、小宗 邦彦（MSD）、永井 立美（デンソー）

参加者数：38健保 47名（2025年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	IHIグループ	14	ディスコ	27	パナソニック
2	azbil グループ	15	デンソー	28	日立建機
3	イオン	16	東芝	29	ファイザー
4	MSD	17	トピー	30	富士通
5	カシオ	18	日産自動車	31	プレス工業
6	キリンビール	19	日本製鉄	32	ボッシュ
7	栗田	20	日本コロムビア	33	三越伊勢丹
8	小松製作所	21	日本ゼオン	34	三菱商事
9	シーイーシー	22	日本発条	35	三菱電機
10	CNCグループ	23	日本ヒューレット・パッカード	36	山崎製パン
11	資生堂	24	日本マクドナルド	37	ヤマトグループ
12	ソニー	25	野村證券	38	ヤマハ
13	DIC	26	博報堂		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月9日	①2024年度活動計画 ②研究会参加パターンの確認、班分け（事例発表チーム分け） ③2023年度月報データのお願い ④メンバー自己紹介 ⑤報告事項	トピー健保
第2回	6月20日	①2023年度柔整療養費月報データの集計報告 ②柔整業務フロー検討 ③事例紹介「患者ごとの償還払い制度導入に関して」パナソニック健保 ④報告事項	推進する会事務所
第3回	7月18日	①講演「点検会社視点での柔整療養費及び点検のチェックポイントについて」 ガリバー・インターナショナル ②報告事項	推進する会事務所
第4回	8月22日	①事例共有・情報交換 B班（7健保からの事例共有・相談をベースに情報交換） ②報告事項	推進する会事務所
第5回	9月19日	①川村義肢会社案内～取り組み紹介 ②義肢装具／治療用装具等に関する講義 ③事前質問に対する質疑応答 ④川村義肢工場見学	川村義肢
第6回	10月17日	①講演「大阪社団における療養費適正化活動について」日本柔道整復師会 徳山 健司様 ②報告事項	推進する会事務所
第7回	11月21日	①事例共有・情報交換 A班（8健保からの事例共有・相談をベースに情報交換） ②報告事項	推進する会事務所
第8回	12月19日	①講演「未来を切り開く電子カルテとは？」明治国際医療大学 伊藤 和憲先生 ②コラボシンポジウム「疼痛」に関して ③報告事項	推進する会事務所
第9回	1月16日	①事例共有・情報交換 C班（4健保からの事例共有・相談をベースに情報交換） ②2024年度研究会アンケートについて ③2025年度研究会活動について ④報告事項	推進する会事務所
第10回	3月13日	①2024年度活動の振り返り ②2025年度の研究会活動について ③体験（AI姿勢健診、姿勢矯正） ④報告事項	法研会議室

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎外部への取り組み

- ・たばこ対策研究会とのコラボで、日本柔道整復師会を通じて全国の接骨院に禁煙ポスターを展開する働きかけを行った。

◎研究会活動

- ・参加メンバーの多様なニーズに対応するため、3つのテーマで活動した。

A) 調査・研究活動

- 柔整療養費月報データの分析
- 「照会文書」「啓発文書」の整理

B) 有識者講演・工場見学会・勉強会

- 外部点検会社による支給申請書のチェックポイントの説明
- 講演「柔整療養費の適正化活動」 大阪府柔道整復師会
- 講演「電子カルテの導入及び慢性疼痛」明治国際医療大学 伊藤先生
- 義肢装具会社の工場見学会及び装具

C) 情報交換

- 各健保の「返戻・不支給」事例、「長期・頻回者」に対する対応事例
- 各健保の適正化活動について

扶養認定基準研究会

＜テーマ＞

2024年度は、保険証廃止に向けた変革の年です。
経過措置や加入者への通知等、国から様々な対応を迫られている現状です。
これらの事象を研究テーマとして積極的に取り上げ、深掘りから情報共有まで幅広い活動を行っていきます。

＜参加条件＞

どなたでも参加可能ですが一部対面重視の活動があり、
WEB参加者にはご不便をおかけする場合があります。

◆研究会メンバー

リーダー：赤羽 修（プレス工業）
担当理事：海宝 和養（アクセンチュア）
参加者数：54健保 77名（2025年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	IHIグループ	19	ソニー	37	日本旅行
2	アクセンチュア	20	第一三共グループ	38	ノバルティス
3	azbil グループ	21	太陽生命	39	野村證券
4	イオン	22	大和証券グループ	40	博報堂
5	SGホールディングスグループ	23	DIC	41	パナソニック
6	FR	24	TDK	42	日立
7	大塚製薬	25	ディスコ	43	フジクラ
8	小田急グループ	26	東京瓦斯	44	富士通
9	花王	27	東芝	45	富士フィルムグループ
10	京セラ	28	トランス・コスモス	46	プレス工業
11	協和キリン	29	ニチレイ	47	丸井
12	グラクソ・スミスクライン	30	日産自動車	48	三越伊勢丹
13	栗田	31	日本製鉄	49	三菱ケミカル
14	サッポロビール	32	日本アイ・ビー・エム	50	三菱電機
15	シーイーシー	33	日本航空	51	山崎製パン
16	資生堂	34	日本ゼオン	52	ヤマトグループ
17	ジャックス	35	日本発条	53	ヤマハ
18	全日本空輸	36	日本マクドナルド	54	雪印メグミルク

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月22日	①研究会の目的・運営ルールの共有 ②参加メンバーの自己紹介 ③アンケート調査について ④2024年度の研究会活動・スケジュールについて	東京連合会 会議室
第2回	6月21日	①班別活動（共通事例：検認、マイナ保険証対応） ②全体会（班での検討結果の共有）	TDK本社 会議室
第3回	7月19日	①マイナンバーアンケートの結果の報告 ②班別活動（共通事例：機密文書管理規定、資格情報のお知らせ、扶養認定） ③全体会（班での検討結果の共有）	東京連合会 会議室
第4回	8月30日	台風により中止	東京連合会 会議室
第5回	9月27日	①下期の班別活動の説（対面5班、WEB1班の計6班） ②基本アンケートについて ③資格確認書の状況について ④班別活動 ⑤全体会（班での検討結果の共有）	東京連合会 会議室
第6回	10月18日	①班別活動の進め方・概要説明 ②班別活動（各班毎にテーマ・課題を討議）	東京連合会 会議室
第7回	11月22日	①被保険者資格証明書の事業主による証明について ②班別活動（各班毎にテーマ・課題を討議）	TDK本社 会議室
第8回	12月20日	①保険証新規発行終了後の各健保の状況共有 ②班別活動（各班毎にテーマ・課題を討議）	東京連合会 会議室
第9回	1月17日	①申告書等の收受日付印押なつ廃止の件 ②夫婦共同扶養に関する質問への回答 ③班別活動（各班毎にテーマ・課題を討議）	東京連合会 会議室
第10回	2月21日	①班別活動（各班毎にテーマ・課題を討議）	東京連合会 会議室
第11回	3月11日	①班別活動（各班毎にテーマ・課題を討議）	TDK本社 会議室
活動 発表会	3月21日	班別活動の発表会 ①認定手順・用紙班 ②検認班 ③自営業者班 ④保険証廃止班 ⑤認定事例班 ⑥WEB班	TKP秋葉原

◆研究会活動内容 (TOPICS)

◎研究会活動

- 同一の事例を班ごとに討議し、その内容を研究会内に発表した。
 - 6月：検認（130万円の壁）、マイナー保険証対応
 - 7月：機密文書管理規定、資格情報のお知らせ、扶養認定（2ケース）
 - 9月：認定する上で必要な確認書類、扶養認定（1ケース）
- 以下の内容を全体会で情報共有・ディスカッションを行った。
 - 資格確認書アンケート結果について
 - 事業主による健康保険被保険者資格証明書について
 - 12/2の保険証新規発行終了後の各健保の状況について
 - 確定申告書の收受受付印押印廃止について

<後半：10月～3月>

3月の研究会内の発表会に向けて、下記6班での班別活動

- ①認定基準・用紙班
- ②検認班
- ③自営業者班
- ④保険証廃止班
- ⑤認定事例班
- ⑥WEB班

→3/21にTKP秋葉原カンファレンスセンターで発表会を開催した。

マイナンバー研究会

(期間、参加メンバーを限定した研究会)

＜設立背景＞

2024年12月1日の保険証発行廃止に向け、各種様々な通知・情報が発出される

- ・健保の抱える課題／要望の整理
- ・保険者としての判断／決定にあたって情報の共有
- ・ステークホルダーと密な連携をとり課題解決に向けた提言

マイナ保険証へのスムースな移行を目的に、限定的な研究会として発足

＜テーマ＞

- ・マイナ保険証への移行に向けての課題整理、意見交換を行い、それぞれの健保の将来に向けた工程表を策定
- ・健保連・厚生労働省等への前向きな提言につなげる
- ・会員健保に対してはアンケートの実施・分析や情報・事例等の共有を行う

◆研究会メンバー

リーダー : 水村 朱希 (日本ヒューレット・パッカード)

担当理事 : 沼越 園子 (日本ヒューレット・パッカード)

北川 豊 (パナソニック)

参加者数 : 8健保 11名 (2025年3月)

＜参加健保＞

No	健保名
1	C&Rグループ
2	資生堂
3	住友不動産ステップ
4	日本航空
5	日本ヒューレット・パッカード
6	パナソニック
7	三越伊勢丹
8	三菱電機

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月21日	①事例発表（パナソニック健保） ②2024年度活動計画について ③厚労省保険課との意見交換会	推進する会事務所
第2回	5月28日	①健保連との意見交換会 ②課題・要望の整理・提言	オンライン
第3回	6月5日	①前期の活動計画について ②マイナ保険証一体化To do List（第1弾）について	オンライン
第4回	7月29日	①会員健保へのアンケートの分析・結果報告 ②厚生労働省・健保連との意見交換 ③マイナ保険証一体化To do List（第2弾）について	推進する会事務所
第5回	10月16日	①各健保の対応状況の情報共有 ②健保連との意見交換	推進する会事務所
第6回	12月23日	①各健保の対応状況の情報共有 ②健保連との意見交換	推進する会事務所
第7回	3月14日	①各健保の対応状況の情報共有 ②健保連との意見交換 ③来年度の活動について	推進する会事務所

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎推進する会内部への情報展開

- ・マイナンバー研究会主催「意見交換会」を7/29に開催した。
 - 厚生労働省 保険局 菊地博史氏、健保連 政策部担当部長 鈴木俊明氏の講演
 - および、マイナンバー研究会メンバーとの意見交換
- ・事務長ネットワークの会とのコラボ企画を、10/31に実施した。
 - マイナンバー研究会の活動状況の共有
 - マイナ保険証に関するアンケート結果の共有
 - 先進事例の紹介と課題共有（安田日本興亜健保）
 - マイナンバーに関する情報アップデート（健保連 政策部担当部長 鈴木俊明氏）
- ・マイナ保険証一体化への「To do List」（第1版、第2版）を作成・展開した。
- ・資格確認書発行状況アンケートの実施・結果のフィードバックを行った。
(健保連への協力)

◎外部団体との連携

- ・研究会の活動として、厚生労働省 保険局、健保連と計◎会の意見交換を行った。
- ・2025年度より、健保連ICT委員会の「電子申請ワーキンググループ」に推進する会代表として、参加する。

健康経営における評価のあり方研究会 (期間、参加メンバーを限定した研究会)

健康経営度見える化する目的で作られた健康経営度調査だが、調査に参加してみて、課題を感じている

例えば・・・、

- ・健康経営度を測る調査として適切なのか
- ・健康経営度を評価する設問として適切なのか？
- ・調査に別の思惑が入っていないか？
- ・健康経営度を評価する設問として適切なのか？
- ・回答するために求められているアクションが過剰ではないか？
- ・日本で事業を行っている外資系企業を念頭においているか？
- ・事業主への調査であるものの、健保への負担が大きくなっているか？

そこで、調査に参加している健保/事業主の健康経営度調査への回答や活動を把握し、その過程で、調査そのものや調査項目に対する見解をまとめたい。

◆研究会メンバー

リーダー : 小宗 邦彦 (MSD)

担当理事 : 小宗 邦彦 (MSD) 、小川 佳政 (ファイザー) 、戸津 玲 (GSK)

参加者数 : 9健保 10名 (2025年3月)

＜参加健保＞

No	健保名
1	FWD生命保険
2	MSD
3	グラクソ・スミスクライン
4	コニカミノルタ
5	トピー
6	日本航空
7	日本ヒューレット・パッカード
8	ノバルティス
9	ファイザー

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	4月11日	①参加メンバーの自己紹介 ②各社の現状の共有	
第2回	6月18日	①健康経営度調査票の内容説明+Q&A事例紹介（コニカミノルタ健保）	
第3回	7月19日	①健康経営度調査票の内容説明+Q&A事例紹介（日本航空健保）	
第4回	9月3日	講演「健康経営度調査票の成り立ち、設問の背景、調査票の変遷過程について」 産業医科大学 森 晃爾先生	
第5回	12月2日	①2024年度活動の振り返り ②外資・内資で違いのある項目・不要項目について ③2024年度調査票の回答への特記事項について	
第6回	1月17日	①2024年度活動の振り返り ②推進する会への報告内容の検討	

◆研究会活動について

<活動してみて>

健康経営銘柄もしくは、ホワイト500を取得することを目指している場合、事業主と健康保険組合の役割を明確にして、調査回答に臨んでいる。また、当年の回答を踏まえて来年度に向けた活動を検討する活動が事業活動に入っている。その際の人員、部署が明確であり、活動にトップのコミットメントがある。

外資系企業にとっては回答しにくい/回答の主旨に合わない設問が存在するし、また、そのことが考慮に入っていないであろうこともわかってきた。健康経営銘柄との関係を考えると理解はできるものの、大小合わせて、多数の外資系企業で勤務する従業員がいることを考えると、改善されることが望まれる。

毎年、設問が変化している。その変化が「健康を測る指標として必要なのか?、深度は適切なのか?他の思惑が含まれていないか?」との懸念を持つ設問がある。設問理由を明確に公開してもらうこと、評価点数の配分を公開することが調査理解度の充実、参加意欲の向上につながると思われる。

調査票の評価について業種ごとに配分を変更するなどの工夫があることで、より公正な健康経営度の把握に近づくと考える。

健康経営度調査への回答は労力がかかる。これを少しでも解消するために、「健康経営度調査、データヘルス計画、ストレスチェック、労働基準監督署への報告、くるみん、えるぼし、D&Iアワード」などとデータの相互利用を進めていくことで、労力がかからない調査になり、それにより、参加する事業者も増えていくのではないか。